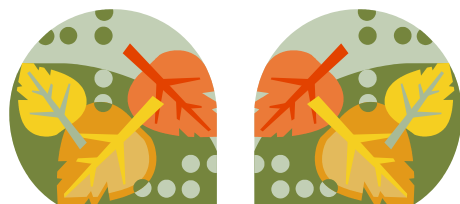


# 住吉台中学校区 学校支援地域本部だより

～住吉台小学校★住吉台中学校～  
平成25年度版 NO.6

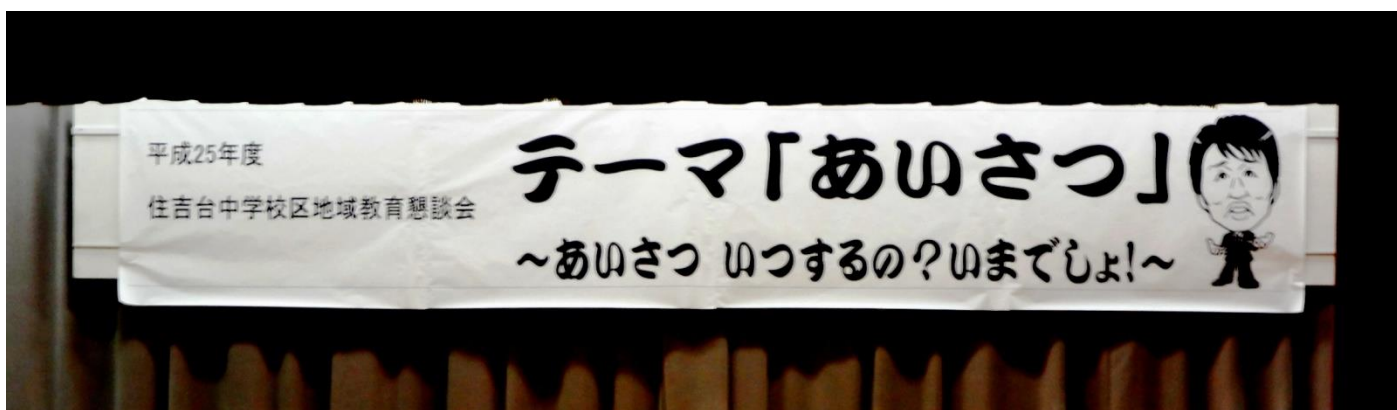
発行 住吉台中学校区  
学校支援地域本部  
連絡先 080-1816-9979  
宮本・佐藤  
平成25年10月30日発行



## ★ 地域教育懇談会 ★

住吉台小学校と住吉台中学校の先生、保護者そして地域の方々が一堂に会し、地域の子どもたちに関わる意見交換の場「地域教育懇談会」を今年も開催しました。

- ★日 時 9月20日（金） 19時～20時30分
- ★場 所 住吉台コミュニティーセンター ホール
- ★主 催 住吉台小学校PTA・住吉台中学校PTA・住吉台中学校区学校支援地域本部
- ★参加者 住吉台小学校（教員・PTA本部・保護者）  
住吉台中学校（教員・PTA本部・保護者）  
連合町内会長・町内会長・民生委員・主任児童員・防犯ボランティア・地域の方  
住吉台中学校区学校支援地域本部 計51名
- ★目 的 子どもたちの安全安心と、地域の住みよい環境づくりのために、学校と家庭と地域による情報交換と意見交換をし方策を提案する。



会場には小学校と中学校の  
写真展示をしました。  
小中とも100枚以上の写  
真が展示され、日頃の活動の様  
子を垣間見ることができまし  
た。

★ 報告 ★

3名の方に日頃の子どもたちの様子やあいさつについて感じることをお話していただきました。

＊住吉台中学校 茂木 PTA 会長＊

- ・あいさつができている割合が目標 80%に対して、昨年のアンケート結果では 70%に満たない。
- ・校内ではあいさつしてくれるのに、地域ではあいさつしてくれない。
- ・スポ少の監督として、健全育成にも努めている。
- ・あいさつは家庭内での取組も重要。家族が仲良しなら自然とあいさつも身につくと思う。



＊住吉台小学校 先崎 PTA 会長＊

- ・以前に比べてあいさつできる子どもが減ってきているように感じる。
- ・小学校では「あいさつカード」の活用もしてきたが、ただカードを渡すだけでなく、もっと積極的にあいさつをしたくなるようなカードの活用法のアイデアもほしい。



＊住吉台子ども教室「住吉だっ子」代表 反田恵美子さん＊

○「住吉だっ子」について

地域の子どもは地域で育てるということを目的に、和太鼓、読み聞かせ、わくわくタイム、ウォークラリーなどの活動をしている。

○あいさつについて

- ・子どもの活動の際に、あいさつの声が小さいことが多い。その時はくり返しあいさつさせている。
- ・知っている人にはあいさつもしやすい。大人も同様。大人が知り合いを増やしあいさつを頻繁にしていれば、子どももまねをする。
- ・知っている子には注意もしやすい。
- ・大人は地域や学校行事に積極的に参加して知り合いを増やしてほしい。
- ・家庭だけで子育てはできない。地域の力で子どもは育つ。



★ 懇談 ★

8つのグループに分かれて懇談しました。

テーマ「あいさつ」は昨年と同じです。そこで今回はあいさつが活発になるには具体的にどんなことをすれば良いのかということを中心に話し合いました。



各グループに、先生、地域の方、保護者など色々な立場の方がいます。









今年は話し合いのグループに果物の名前をつけました。



(裏面参照)



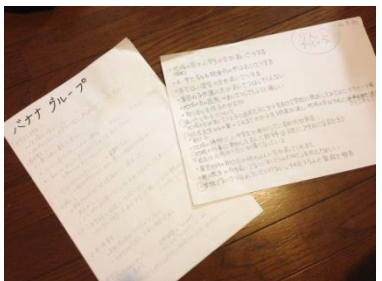
★ 発表 ★

グループ名	内 容
リンゴ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方からの声→「校内ではあいさつをしてくれるが、外ではしてくれない」</li> <li>・あいさつカードをもっと活用する</li> <li>・家庭でもあいさつについて教育する</li> <li>・地域行事に参加して大人にあいさつする機会をふやす。</li> </ul>
キウイ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童、生徒対象の「あいさつ標語コンクール」を実施しよう。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、学校で審査、表彰（賞金付♥）して、標語は町内中に掲示しよう。</li> </ul>
ミカン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内でのあいさつを習慣づけよう。</li> <li>・地域での共同作業（一斉清掃など）を通してあいさつの気持ち良さを覚えよう。</li> <li>・保護者はもっと学校とかかわって、あいさつ運動を盛り上げよう。</li> </ul>
バナナ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人から率先してあいさつしてみせる。</li> <li>・子ども目線で「おはよう」大人目線（大人同士）で「おはようございます」</li> <li>・誰からするの？親（大人）からでしょ！</li> </ul> <p>小さいころから訓練していれば必ず身につく。</p>
イチゴ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人とのコミュニケーションが必要不可欠。</li> <li>・「なぜあいさつが大切なのか」を教える。</li> <li>・基本は家庭の中にある。食生活はきちんとしているか？</li> </ul>
レモン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校、地域で「あいさつ月間」をつくる。</li> <li>・あいさつの良さを知る。</li> <li>・アンケートであいさつの意味を確認。</li> </ul>
スイカ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜあいさつができないのか→はずかしい。照れがある。→習慣になれば苦痛でなくなるのでは→大人が手本になるようにする。</li> </ul>
ブドウ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人から子どもへ、ボランティア活動、町内や学校行事を使い、大人から積極的にあいさつ！</li> </ul>

グループで出た意見をまとめて、用紙に書いて発表してもらいました。



各グループのメモ用紙には、まとめられないほどのたくさんの意見が書かれていました



## ★ 講評 ★

最後に住吉台連合町内会藤原会長に講評をいただきました。  
○子どもを育てるのは地域と学校と家庭。最も重要なのは家庭。親にしかできない人生教育というものがある。  
○人生には、3つの「ゆ」が必要。

「ゆとり・ユーモア・勇気」

- ・自分の心に『ゆとり』がなければ周りに気を配れない。周りの人に関心をもとう。
- ・皆が楽しくなれる雰囲気作りには『ユーモア』が必要
- ・周りの意見に流されず、今、言わなくてはいけないことには『勇気』が必要。

『あいさつ』はそれらすべてに結びつくもの。

○今日の懇談会を踏まえ、それぞれの立場で「あいさつ運動」に取り組んでほしい。また、今、この時から始めてほしい。



## ★ 参加者の声 ★

- ◇さまざまな立場の人と話し合うことで、いろいろな意見が出て良いと思う。いろんな方の熱い想いを聞くことができ、この地域を知ることができた。自分の励みになった。
- ◇日頃見られない小中学校の様子、たくさんの写真を見ることができて良かった。
- ◇子どもは地域の宝。子どもがいることで地域に元気がでる。地域で大切に育みたい。
- ◆保護者の参加が少ないように思う。残念だ。

## ★ 小中学校のあいさつ運動について ★

小中学校では昨年から「あいさつ運動」に取り組んでいます。

毎月第2週の水曜日の朝には、小学校の校門の前に中学校の生徒会執行部が立ってあいさつをしています。

小学校でも第2・第4水曜日の朝、計画委員を中心に5・6年生が校門に立ち、あいさつをしています。小学校の階段には、あいさつ標語も貼られています。



## ★ まとめ ★

昨年から引き続き「あいさつ」をテーマに懇談会を開催しました。

懇談を通して、日頃何気なくしている「あいさつ」には様々な想いが込められていることも再認識できました。

小学校・中学校・地域それぞれの立場で「あいさつ運動」を継続していくことで、地域に知り合いが増え、地域が明るくなることはもちろん、安全安心な街づくりにつながっていきます。息の長い活動をしていきましょう。

『あいさつ いつするの？ いままでしょ！』